

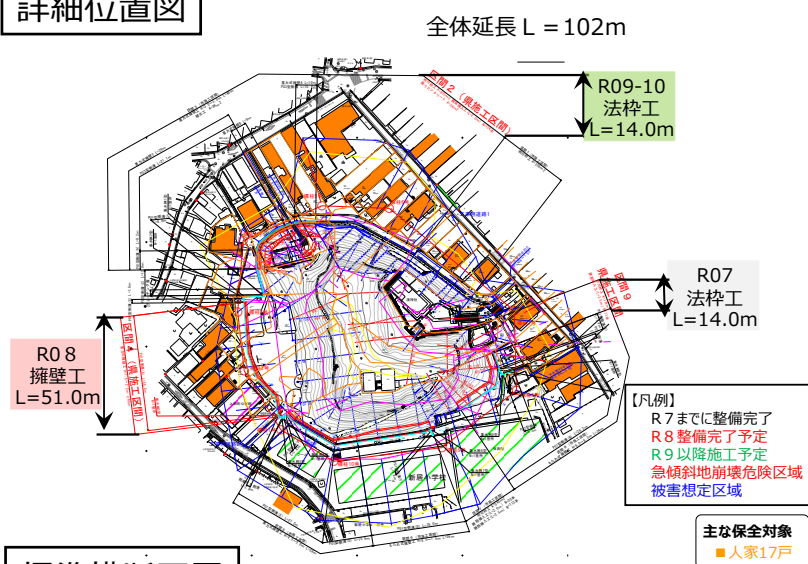
番号	28	令和8年度公共事業再評価調書					担当課名																										
事業名	急傾斜地崩壊対策事業				事業主体	静岡県																											
ふりがな	いげんたやま				関係市町	湖西市																											
箇所名	源太山																																
事業採択年度	令和4年度		計画期間	令和4年度～令和10年度																													
用地着手年度	令和5年度		工事着手年度	令和7年度																													
再評価理由※	事業採択後5年経過																																
全体事業費	百万円 169	投資状況 (百万円)	～R6年度 17	R7年度 52	R8年度見込 35	計 104																											
事業概要	(1) 事業目的 源太山地区は、静岡県湖西市新居町に位置し、保全対象として人家17戸及び湖西市地域防災計画の避難路や市道新居102号線、104号線を含む急傾斜地である。 がけ崩れ発生時には、周辺地域一体に甚大な影響を及ぼすことが想定されるため、急傾斜地崩壊防止施設を整備し、住民の生命を守るものである。また、大地震による斜面崩落を防ぐことにより、この時予想される津波の避難場所（当該地山頂平場）を確保する。 (2) 事業内容 施工延長：102 m 擁壁工：51 m 法枠工：51 m																																
【視点1】	(1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化 近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化していることから、甚大な土砂災害が多く発生しており、災害に強いまちづくりのための風水害に対する対策へ高い期待が寄せられている。 当該地区では、がけ崩れの発生により、人家、市道及び小学校等に被害が及ぶことが懸念されるため、急傾斜地崩壊防止施設を整備する必要がある。 (2) 事業の投資効果 ○費用便益分析結果（令和8年度時点） <table><tr><td>B/C (i=4%)</td><td>参考:B/C (i=2%)</td><td>参考:B/C (i=1%)</td><td>EIRR</td></tr><tr><td>23.7</td><td>38.5</td><td>50.8</td><td>35.1%</td></tr></table> ・総便益 (B) 3,433 億円（年平均便益：1.91億円） ・総費用 (C) 145 億円（建設費：1.40億円、維持管理費：0.05億円） ○見込まれる効果（定性的な効果） ・がけ崩れによる甚大な被害の防止 (3) 事業の進捗状況（令和8年度見込み） <table><tr><th>区分</th><th>進捗率</th><th colspan="2">内 訳</th></tr><tr><td>事業費</td><td>61.5%</td><td colspan="2">(104 百万円 / 169 百万円)</td></tr><tr><td rowspan="2">事業量</td><td>法枠工</td><td>100.0%</td><td>(51 m / 51 m)</td></tr><tr><td>擁壁工</td><td>27.5%</td><td>(14 m / 51 m)</td></tr><tr><td>用地取得</td><td>100.0%</td><td colspan="2">(0 m² / 0 m²)</td></tr></table> 評価 継続が妥当						B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR	23.7	38.5	50.8	35.1%	区分	進捗率	内 訳		事業費	61.5%	(104 百万円 / 169 百万円)		事業量	法枠工	100.0%	(51 m / 51 m)	擁壁工	27.5%	(14 m / 51 m)	用地取得	100.0%	(0 m ² / 0 m ²)	
B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR																														
23.7	38.5	50.8	35.1%																														
区分	進捗率	内 訳																															
事業費	61.5%	(104 百万円 / 169 百万円)																															
事業量	法枠工	100.0%	(51 m / 51 m)																														
	擁壁工	27.5%	(14 m / 51 m)																														
用地取得	100.0%	(0 m ² / 0 m ²)																															
【視点2】	今後の事業の進捗の見込み 用地取得について、令和6年度末までに完了していることから、工事を計画的に推進し、令和10年度の完成が見込まれる。 評価 継続が妥当																																
【視点3】	新たなコスト削減・代替案立案等の可能性 活用可能な建設発生土の現場内での有効活用や他工事への流用、新技術・新工法の活用を検討するなど、コスト削減を図っていく。																																
対応方針（案）	(1) 対応方針（案） 本事業を 【 継続 】 する。 (2) 理由 本事業は、急傾斜地の崩壊による被害を未然に防止するものである。近年、県内でも甚大な土砂災害が発生しており、地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。																																

1. 事業箇所位置図



2. 事業概要

詳細位置図



事業目的

源太山地区は、静岡県湖西市新居町に位置し、保全対象として人家17戸及び湖西市地域防災計画の避難路や市道新居102号線、104号線を含む急傾斜地である。

がけ崩れ発生時には、周辺地域一体に甚大な影響を及ぼすことが想定されるため、急傾斜地崩壊防止施設を整備し、住民の生命を守るものである。

事業内容

箇所名 : 源太山 (湖西市新居町新居)

事業費 : 169百万円

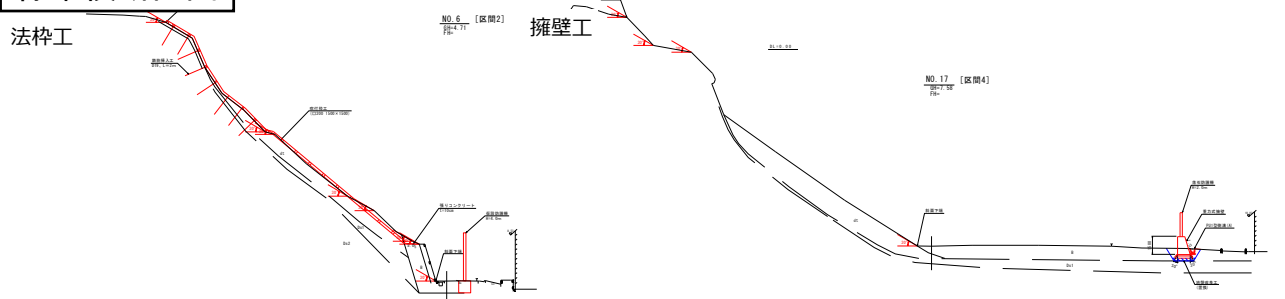
計画期間 : 令和4年度～令和10年度

全体延長 : 102.0m

事業内容 : 擁壁工 延長51.0m

法枠工 延長51.0m

標準横断面図



3. 事業概要

前回からの変更点・理由

区 分	前回(R4)	今回(R8)	主な変更理由
①計画期間	R4～R8	R4～R10 (+2年)	用地取得に伴う調整や隣接工区(市事業)との調整に不測の日時を要したため。
②全体事業費	100百万円	169百万円 (+69)	・工事にあたり実測したところ、法面工の必要面積が想定より多くなったため ・社会的情勢(物価、賃金等の上昇)によるため

4. 事業の投資効果（費用便益比）

事業の投資効果（費用対効果の検証）

総便益（B）

総便益 34.33億円

- ☐ 直接被害
 - ・家屋被害、道路被害、人的被害
- ☐ 間接被害
 - ・精神的被害

総費用（C）

総費用 1.45億円

- ・建設費
- ・維持管理費



費用対効果(B/C):23.73 経済的内部収益率(EIRR):35.1%

前回の費用対効果(B/C):22.9

今回の費用対効果(B/C):38.5(i=2%)、50.8(i=1%)

・「砂防事業の費用便益分析マニュアル」の改定に伴い、人的被害額の精神的損害額が2.26億円/人⇒6.01億円/人に引き上げられたため

5. 今後の事業の進捗の見込み

●事業推進のための取組

- ・隣接事業（市）と綿密な会議・打合せ等の開催。
 - ・公共事業に対する地元の理解を得るための調整の継続。
 - ・適切な工期や施工時期を見据えた計画的な工事発注。
-